

鳥取県では行人的スレ〜していただき感謝です。
被害あわいの皆様にお見舞い申し上げます。
2021.9.18~9.24

この号は「あ〜」がテーマです。

今週の

倫理

9月のテーマ | 問題意識の活用

1247号

ま〜んま〜ん

職場での人間関係の問題は、数多く存在するものです。人間関係が悪くなると仕事や心身にも悪影響を及ぼすことがあります。そうしたトラブルに巻き込まれた時、早期に対策を講じることが肝要です。

職場では、相性が悪い人とも、歩み寄って仕事を進めなければなりません。様々な人たちが構成されるのが、会社という組織であるからです。そうした中で、苦手な人と、どのようなにして、より良い関係を築いていけばよいのでしょうか。

職場においては、人と人とのコミュニケーション「報告」「連絡」「相談」が最も大切です。それぞれの頭の文字をとった「報・連・相（ホウレンソウ）」に加え、日々の感謝の言葉と挨拶は、社会人の基本ともいえるでしょう。

組織運営では、下から上への報告の流れだけでなく、上から下へといった連絡の流れも不可欠となります。「報・連・相」とは、仕事を円滑に進めるための手段だといえるでしょう。ですから、経営者がまず行なうべきことは、挨拶などが飛び交い社員が報告しやすい「雰囲気づくり」と、感謝を形にするなど「仕組みづくり」の徹底です。

ある会社のA課長は、部下の出張が重なり、人手が不足して焦っていました。そのため、部下から話しかけにくい雰囲気や醸し出していたのです。部下のBさんはA課長の機嫌が悪そうだからと、報告すべき重要事項も「また今度にしよう」と後回しにしていました。



人間関係の改善は 率先した挨拶から始まる

ところが、そのような状況を知らないA課長は、トラブルが起きる度に、「なぜ私に報告しないんだ」と部下につめより、ますます関係性が悪くなっていったのです。

A課長は、自らが部下との間に心の壁を作り、仕事の妨げとなっていたことに気づきました。そうした問題を改善するために、部下から報告を受けた際には、すぐに「ありがとう」と感謝を伝えるようにしたのでした。部下がスムーズに「報・連・相」をするようになったのは、A課長が相手に対する敬意を表した瞬間からでした。

その頃から、お互いの信頼と信用が強固なものとなっていきました。双方の関係性を改善できたのは、互いの存在を認められたからであり、その核となったのが、日々の「挨拶」と「感謝」でした。

職場において、挨拶をしなければ、お互いに相手の存在を認めていないこととなります。挨拶のない職場では、良い人間関係は築けません。さらには人間関係からトラブルが多く生じてしまい、職場から活気が失われてしまいます。

さわやかな挨拶が飛び交う職場では円滑なコミュニケーションと「報・連・相」が築かれます。明るい挨拶には、言葉の魂が宿っています。だからこそ、日頃の挨拶や感謝を表現する言葉を大切にしたいものです。たとえ苦手な人でも、正対して挨拶することで、「報・連・相」がスムーズにできるようになります。率先した挨拶から、より良い職場環境を築いていきましょう。